

平成27年度

フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)

第二回 国際標準に関する勉強会

「GLOBALG.A.P.と国際標準」

一般社団法人GAP普及推進機構
事務局

1

技術士(農業部門) 今 瀧 博 文

GLOBALG.A.P.の目指すもの

1. 持続可能な農業

- IPMの導入による環境負荷の低減
- 生物多様性の維持
- 労働安全と福祉
- 責任を持った農薬使用
- 家畜への配慮
- HACCP手法によるリスク管理

2. GFSIの承認した国際基準（世界共通GAP）

GLOBALG.A.P.の取組み

1. GAP(適正農業規範)の共通化

- アブダビ宣言: SAI Platform(持続可能な食品製造を目指すメーカーの取組み)との協働で、管理点適合基準を共通化する
- ASC(Aquaculture Stewardship Council)との取組み

2. GFSI承認規格

- Integrated Farm Assurance (F&V)
- Product Safety Standard (F&V)
- 水産養殖の申請
- フードテロ・食品偽装への対応

GFSI(国際食品安全イニシアチブ)の取り組み

[HTTP://WWW.TCGFJP.ORG/FOODSAFETY/INDEX.HTML](http://www.tcgfjp.org/foodsafety/index.html)

GFSIの目的

1. 複数ある効果的な食品安全マネジメントシステムを同等化し、**収斂**させていくことで、食品安全におけるリスクを軽減する。
2. 重複を低減し、業務効率を改善することで、フードシステム全体のコスト効率を向上する。
3. 一貫した、効果的なグローバルフードシステムを構築するため、食品安全のための技量、力量を開発し、能力を強化する。
4. 世界中のステークホルダー達が協働し、知識を交換・共有し、ネットワークを築くためのプラットフォームを提供する。

"Once Certified Accepted Everywhere"

一度受けた認証は、どこでも通用する

GFSIの傘下の元、多数のグローバルな大手小売業者とメーカーがGFSIにベンチマークされた食品安全マネジメントシステム・スキームを認めて採用しています。

BRC GLOBAL STANDARDS
THE WORLDWIDE REQUIREMENT FOR
FOOD SAFETY

CANADA GAP



alliance

GLOBAL G.A.P.



primus GFS



GFSI(国際食品安全イニシアチブ)の取り組み その2

[HTTP://WWW.TCGFJP.ORG/FOODSAFETY/INDEX.HTML](http://www.tcgfjp.org/foodsafety/index.html)

GFSIを運営するメンバー構成

(注)TCGF = The Consumer Goods Forum自体には世界70ヶ国からおおよそ400社のメーカーと小売業が参画している

1. 製造メーカー(日本のローカルグループのみ掲載)

味の素・伊藤園・カゴメ・サントリー・花王・麒麟・コカコーラ・日清食品・ニチレイフーズ・日本水産・日本ハム・ハウス食品の他に、グローバルな食品企業各社

2. 小売業

イオン(日)・カルフル(仏)・テスコ(英)・メトロ(独)・ミグロス(瑞)・アホールド(蘭)・ウォルマート(米)・デルハイズ(ベルギー)・ICA(スウェーデン)など

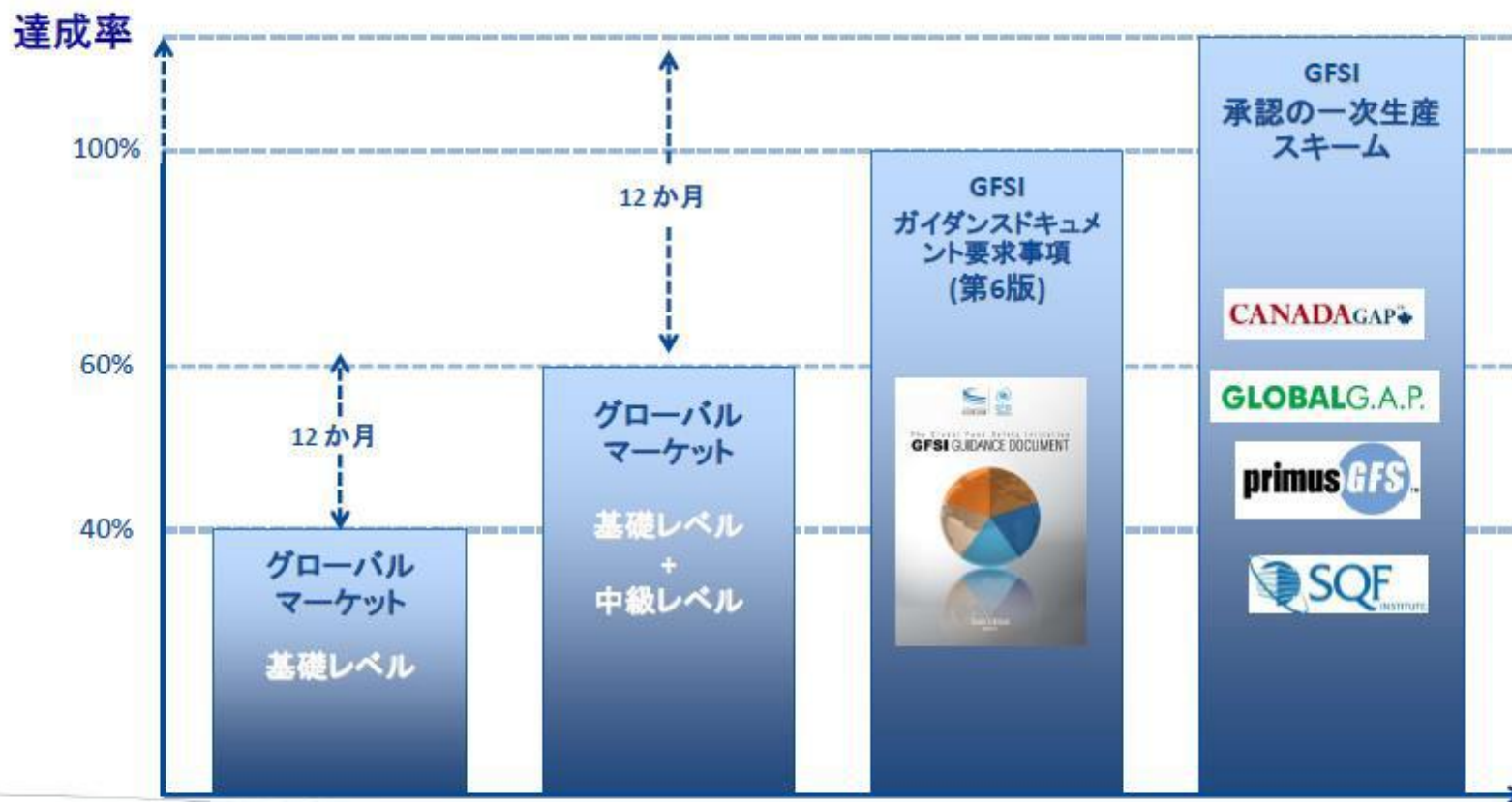
現在、GFSIに承認されている作物一次生産基準

<http://www.mygfsi.com/gfsi-benchmarking-general/applications-a-scopes.html>

- GLOBALG.A.P.(全世界に普及)
- CanadaGAP(カナダで普及)
- PrimusGFS(米国とメキシコ)
- SQF(米国中心に食品製造まで)

GFSIガイドンスとGAP認証との関連

要求事項: 完成までの概要(3/3)



GLOBALG.A.P.にまつわる誤解

1. 大規模農業用の基準？
2. 日本の農業に合わない？
3. 難しい要求？
4. 実需者が求めている？
5. 規格を発信することで世界市場を制する？

GLOBALG.A.P.にまつわる誤解

1. 日本の農業に合わない？

- ✓ 農業の地域性を包含している
- ✓ 持続可能な農業に関する必要最小限の管理点を網羅している
- ✓ 欧州のみならず、北米・中南米・アフリカ・アジア・大洋州それぞれの地域の農業で実践されている

2. 大規模農業用の基準？

- ✓ 多様な生産者（アフリカ生産者・スペインの農協）
- ✓ 広域流通用の基準
- ✓ マルシェ（直売）やBio/Organicは、別の管理基準

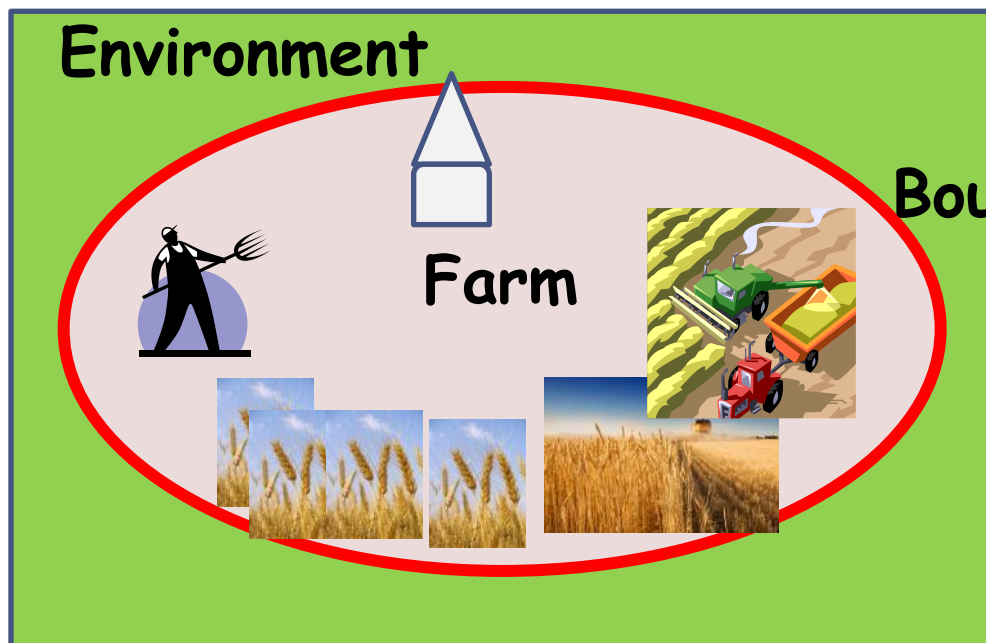
GLOBALG.A.P.にまつわる誤解

3. 難しい要求？

- ✓ 用語が難しい？（翻訳の問題）
- ✓ 概念が難しい？（Farmと圃場は同じ？）
- ✓ その為にNIG（国別解釈ガイドライン）が必要

4. 実需者が求めている？

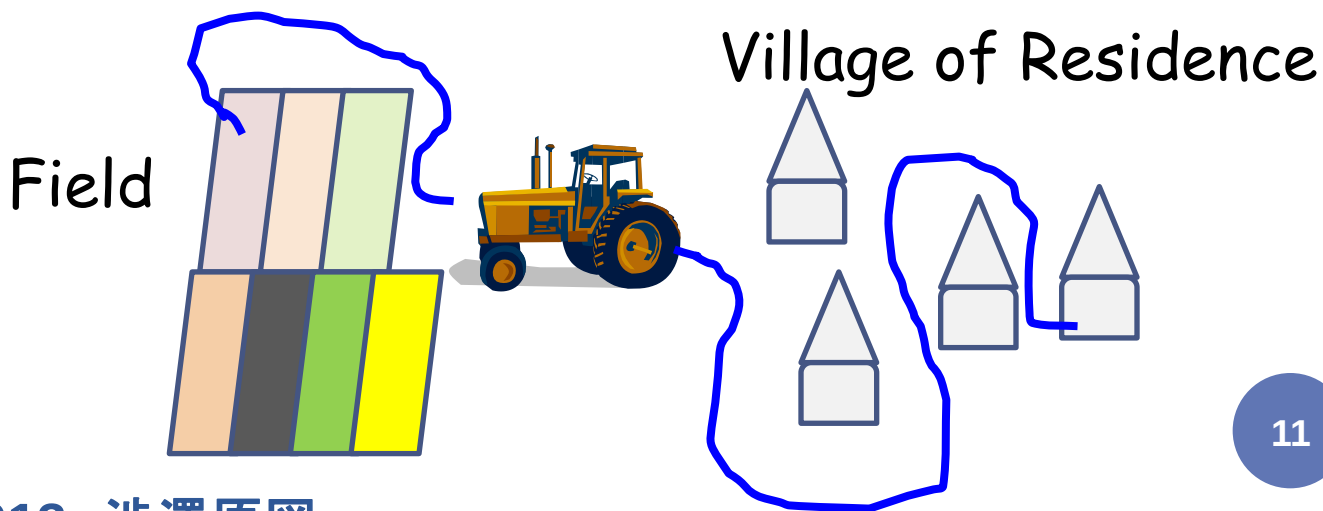
- ✓ EUが辿ってきた道
- ✓ 輸出に必要
- ✓ 輸出には輸出用GAP、国内は別の管理になるのか？ 二度手間では？



Boundary

Farmを農場と訳すだけでは、解決しない。
では、圃場ならいいのか？

リスク管理の対象が異なる



GLOBALG.A.P.にまつわる誤解

5. 規格を発信することで世界市場を制する？
- ✓ GAPは製品規格なのか、プロセス認証なのか
 - ✓ GAPは差別化戦略なのか
 - ✓ GLOBALG.A.P. に統一したことで、EU農産物が世界を席巻するようになったのか
 - ✓ GLOBALG.A.P.はGAPの統一（ハーモナイゼーション）を目指している
 - ① アブダビ宣言
 - ② 小規模経営農業と食料安全保障

GAPの実質上の国際標準とは何か？

1. 民間の取組みであり国境を越えた合意が簡単（中国は別）
2. 製品規格による囲い込みとは異なる
3. ユニバーサルなプロセス認証



日経BPnet 時代を読む新語辞典

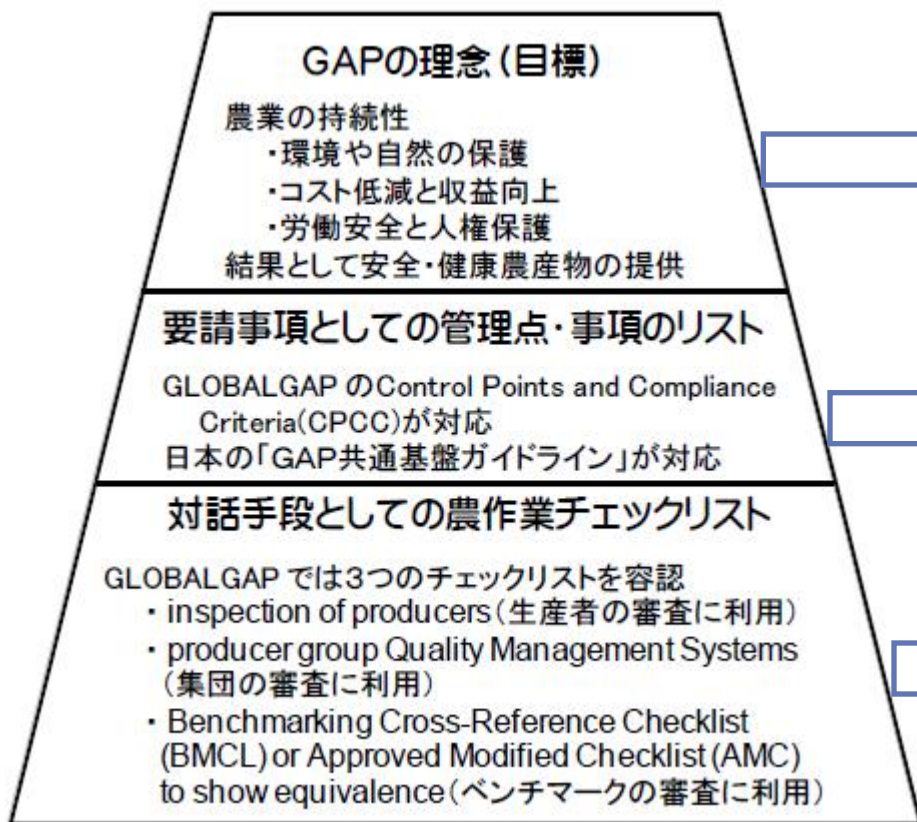
「ガラパゴス現象」(もり・ひろし＝新語
ウォッチャー 小林商事＝イラスト)

2008.6.10. より

わが国における農業生産工程管理(GAP)の二つの方向性

1. 国際標準GAPを日本で使いやすく
2. 日本発のGAPを策定して国際標準に合わせる

日本におけるGAPの構造 一国の役割と民の実践



食料・農業・農村基本法(平成11年法律第106号)
食品安全基本法(平成15年法律第48号)
環境基本法(平成5年法律第91号)
(参) 食料・農業・農村基本計画(平成22年閣議決定)
(参) 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)
(参) 国連食料農業機関 (FAO) GAPの定義(2003)

**農業生産工程管理(GAP)の共通
基盤に関するガイドライン**

GLOBALG.A.P. IFA

**GAP手法と呼ばれる様々な
チェックリスト***

「技術と普及」GAPをめぐる最新の状況(澁澤原図 2011)

* 但し上位概念を完全にカバーしてはいない

GLOBALG.A.P.ツアー2015(日本大会)

GLOBALG.A.P.
TOUR2015



organized by the National
Technical Working Group Japan

Tokyo, Japan
11-12 September 2015

WE'RE ON
OUR WAY
TO JAPAN!

#GGTOUR2015 | www.tour2015.org

日時	2015年9月11日(金)～12日(土)
開催地	東京都府中市 東京農工大学府中キャンパス
企画	GLOBALG.A.P.事務局 c/o FoodPLUS GmbH GLOBALG.A.P. NTWG – Japan(日本におけるGLOBALG.A.P. の技術作業部会) 東京農工大学大学院農学研究院農業環境工学部門
運営	GLOBALGAP協議会 一般社団法人GAP普及推進機構
共催	一般社団法人日本生産者GAP協会
後援	日本農産物輸出組合



持続可能な農業経営
確立のためにGAP

(有)かさい農産 代表取締役会長 葛西信昭



(有)かさい農産



2003年 有限会社かさい農産 設立

2007年 日生協 適正農業規範 農場管理開始

2007年 JGAP GLOBALGAP 認証

2011年 JGAP放射能測定プログラム合格農場

2014年 一般社団法人やさいサラダ設立

従業員 17名(役員4名)

経営面積 ハウス 0.9ha 露地 2.0ha

事業内容 野菜生産加工販売 青果卸小売販売 作業受託

主な販売先 いわて生協 ワタミ 一印一関青果市場 給食センター

JGAPの理念

人間と地球と利潤の間に矛盾の無い農業生産の確立と、生産・流通・消費の信頼関係構築を目指します。

農産物の安全を確保して消費者を守り、地球環境を保全し、同時に持続的な農業経営を確立することがJGAPの目指す最終的な目標です。

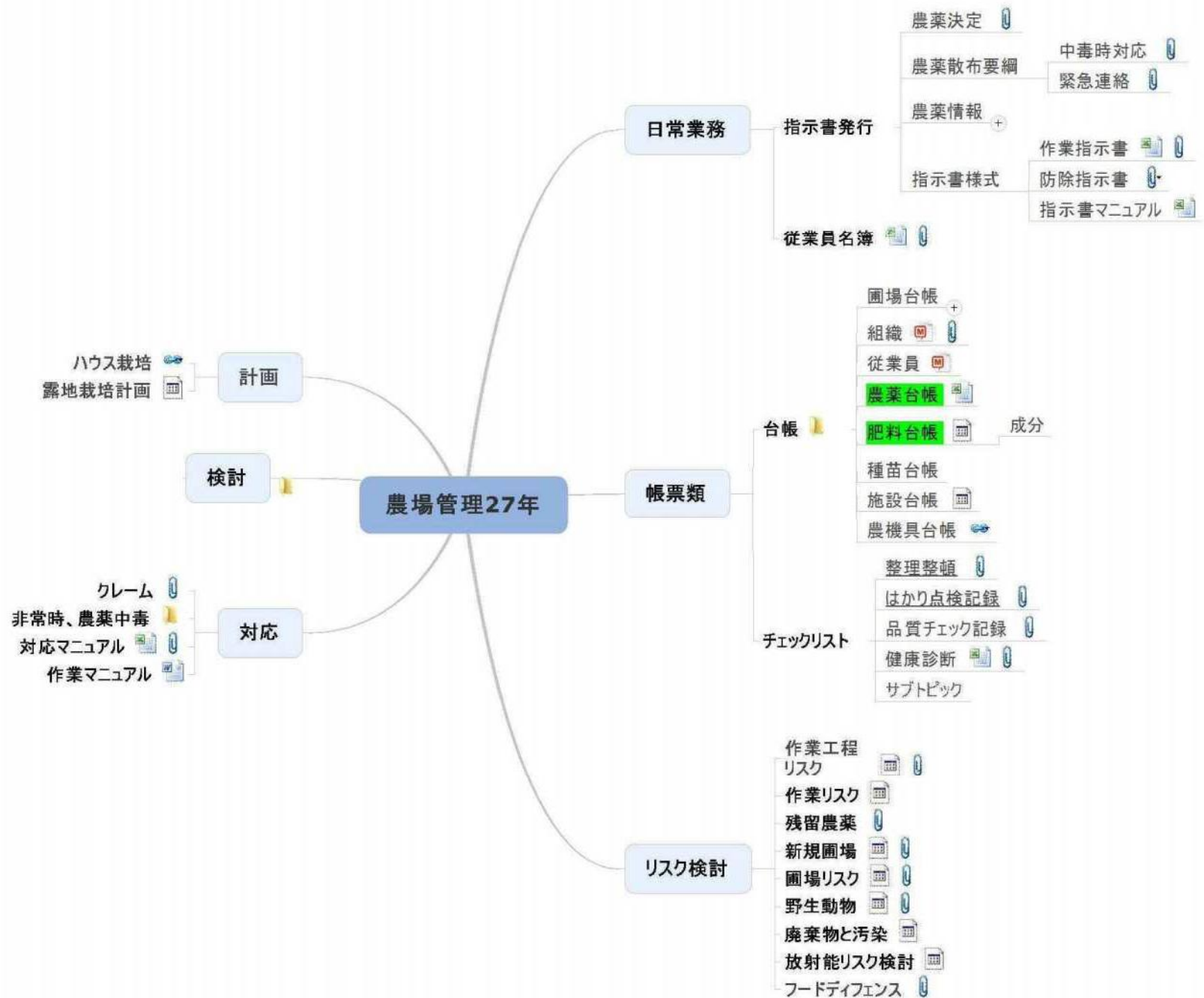
グローバルGAP

「食の安全リスクの低減」「労働安全」「環境保全」「生態系の維持」の実践を通して「**食の安全と持続可能な生産管理**」を社会の求めるレベル以上に実現する為の、ハーモナイズ化された共通の規格とツール開発（効率的な適合性確認含む）に取り組んでいます。これらを通じ、**健康で持続的な社会実現**に貢献する事を目指しています。

GAPは農業生産者が自主的に取り組むべき経営手法である

GAPは食品事業者として守らなければならない最低限のルールである

GAPは農業生産者が事業として持続的に経営するための道しるべとなるツールである。



作業工程表及び
リスク検討
2015年7月3日



収穫実績書

圃場名	B5			品名	小松菜
開始時間	8:00	終了時間	10:45	収穫予定数量	40
記載は、15分単位 休憩時間引いてください 15分0.25 30分0.5 45分0.75					
		時間数		時間数	収穫量
高橋 美枝子			丹野 健		ケース 40 ✓
鈴木 リツ子			島畑 浩		
千葉 元子	9:30	1.25	鈴木 ミエコ	9:30~	
金今 徳子	9:30~	〃	小野寺 由衣	〇	
藤江 光子	9:30~	〃	泉 智子		
佐々木 トキ子	9:30~	〃			
島山 美幸	〇	2.75	小野寺 信幸		
佐々木 孝恵			三浦 正行		
三浦 幸子			小野寺 俊		
菅原 美帆	〇	〃	安岡 雄二		
米澤 真弓	〇	〃	島山 哲史		
佐藤 昭二			千葉 祥友		
阿部 竜也	9:30~	1.75	岩淵 梨乃		
小野寺 貴大			小山 和樹		
			三浦 亮		
例	8:00~9:45	1.75	合計	18.75	

11 8.75

2015年3月28日改訂

包装・出荷実績書 (7 月 13 日) 記入者氏名: 富山美幸

園場名	目11				品名	小松菜
記帳は、15分単位 休憩時間引いてください						15分0.25 30分0.5 45分0.75
	12:00~12:10	時間数	12:10~12:20	時間数		時間数
高橋 美枝子	0		0	2.75		
鈴木 りつ子			0 14520	1.25		
千葉 元子			1 64520	0.25		
金井 節子	0		0	2.75		
藤江 元子	0					
佐々木 トキ子	0					
富山 美幸	0		0	2.75		
佐々木 孝恵						
香原 美帆						
米澤 真弓			0	1.1		
小野寺由衣						
		1.25		10.25		
例	8:00~9:45	1.75	合計時間数	22.75		

出荷先	調整数
H 15 45+290	
市 24	
給食 25.1kg	
Bm箱入 6kg	
残量 24	

出荷先 調整数

生 1545+290

市 24

給食 25.1kg

Bin箱入 6kg

残量

24

k



今、ニッポンには
この夢の力が必要だ。